

## 少しの水でも

学校で給食が終わり、歯みがきをしている時間。気がつけば廊下にはいつも水道から水が出ている音がします。よく、一人の人が出している水を、

「あ、ちよつと待って、止めないで！」  
と言って、後から来た人がそのまま使うからです。私もこれぐらいならよくやります。でもたまに、先に水を出しておいて、そのまま水を出しっぱなしにしたままコップや歯ブラシを袋から出して準備している人もいます。私には、どうしてもその行動が納得できません。先に準備をして、きちんと整えてから水道のじゃ口をひねればいいと思うのです。私はいつもそうしています。だから、人がこういうことをしていると、気になってしかたがありません。  
「ちよつと、水もったいないよ。」

天理市立福住中学校 二年

乾谷 萌李

と言うか、あるいは、何も言わずに止めてしまうこともあります。少し言いづらい時は、自分のコップを出して、なんとか水が無駄にならないようにしています。そんな私を、何人か人は、少し面倒くさそうな顔で見ます。私が近づくと、何も言わなくても、水を止める人もいます。

それは、家の中でも同じです。この間弟と外で遊んでいて、家に入ったとき手を洗いました。私は最初に手を水でぬらして、いったん止めてから石けんをつけ、もう一度出すようにしています。しかし弟は、最初に水を出して手をぬらし、そのまま出しっぱなしにして、石けんをつけ、手を洗い始めました。私は当然、  
「ちゃんと止めや、もったいないやろ。」  
と言って水を止めました。すると弟は、

「えー何で止めんの？出してよ。」  
と言いました。「水を止めるのになんでもくそもあるか、もったいないからに決まってるだろう。」と、私は少しイラッとしてました。弟だけでなく、私の父も、お風呂に入るとまずお風呂全体を暖かくするために、シャワーをかなりの間出しっぱなしにするのです。この行動にも注意をしたのですが、  
「だって寒いやん。」  
と言って、聞いてくれません。他にも、気がついたら水道の水が出しっぱなしになっていたり、どこかから水が流れている音がずっとしてしてたりします。私はそういうことすべてが気になってしかたがないのです。  
私は昔からこんなに水にうるさかったわけではありません。そこで、何でこんなに気にするようになったかを思い出してみると、たぶん、テレビである番組を見てからだと思います。その番組では、地球上で飲むことができる水は、わずか1パーセントにみたないといっていました。地球は水の星といってもそのほとんどが海水で、さらには水質汚染や各地での砂ばく化などで、今こうしている間に

も、私たちの大切な水は底をつこうとしているのです。そしてその時私は、その1パーセントの水を手にかけていること、いつでもきれいな水が飲めるありがたさと幸せをしりました。

このまま人類が増え続けると、確実に水はなくなり、人々は水を求めて争いを始めるそうです。人間は水がなければ死んでしまいます。それに、人間の体の六十パーセントは水でできているのです。まさに水は、地球上の生命の源です。私たちが今一番大切にしなければならぬものと言っていていいでしょう。

だから私は、少しの水も無駄にして欲しくないのです。私たちがきれいな水を手にかけている間に。手おくれになってしまいう前に。









